

<基本情報>

所在地：佐賀県唐津市浜玉町

<農場概要>

- 有機JAS認証ほ場約2.4ha（自然薯、ごぼう、ゴーヤ、さといも）
- 従業員：3名（本人、通年雇用2名。繁忙期は別途3名程度期間雇用）



<有機農業に取り組むきっかけ>

- 生き方を見つめ直そうと海外を旅した際、インドネシアの島で高潮被害を目の当たりにした。現地の方から地球温暖化の影響によるものだと知らされたことから、実家の田畑で環境に優しい農業を始める覚悟を決め、2002年に減農薬農業に取り組んでいた祖父に弟子入り。就農から5年程度は、化学農薬・化学肥料の使用を抑えた栽培を行い、その後、化学農薬・化学肥料不使用栽培を開始。
- 平成24年（2012年）に有機JAS認証を取得。

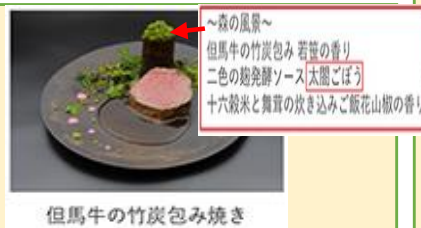
<販売について>

- 販売先はミシュラン掲載店を中心に東京、名古屋、大阪、京都、福岡等のホテルや飲食店、百貨店、高級スーパー（納品先のミシュランの星の数の合計は100を超えています！）
- 1割は、ネットでの直接販売。

<首脳夕食会への食材提供>

- 2019年G20大阪サミットの首脳夕食会の食材として、当園の「自然薯」、「太閤ごぼう※」が選ばれた。

※「唐津太閤ごぼう」で商標登録済
（佐賀県唐津市で生産されるごぼう）



但馬牛の竹炭包み焼き



自然薯とレンコンの餅と色
鮮やかな根菜

<土づくり>

[適地適菜] ささき農園の自然薯畑は天然の自然薯が自生している山を切り開き畑にしています。この山の豊かな自然を壊さないように土づくりには3年の月日をかけ草を育て、1年目、2年目と違う種類の草が育ちその土地が育てた、その土地が必要とする草をすき込むことで地力のバランスを整えていきます。

<病害虫対策・除草対策>

マルチを利用することでアブラムシやスリップス類などの害虫や病気の発生を抑制するとともに、雑草防除も行っている。作物の前作に辛子菜を栽培し、全量鋤き込み、土壌炭素率を上げ微生物の活動を促すとともに、辛子菜の辛味成分による殺菌作用を利用し土壌病害や線虫を抑制。

<苦労したところ>

就農時から主力商品として考えていた自然薯の有機栽培を始めてから7年近くは、保存中や定植後の腐敗が発生した。それを克服し栽培方法を確立することに苦労した。

<今後の展開>

2026年2月に法人化を予定しており、新たに加工品にも取り組む計画である。多くの人に食べていただいて、健康になっていただけると幸いです。



【お問合せ先】TEL. 090-5293-2502
ホームページ：sasakinouen831.com/